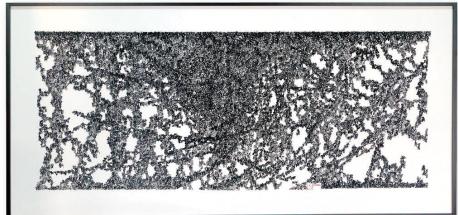




石巻市中央の石巻ニューゼ、レジリエンスバーの施設内は蒼玄さん揮毫の「変化する力」が展示されている。



作品「ゲシュタルト崩壊」

時代を先駆ける

書道の半紙を目の前に筆を手にすると「きれいな字を書きたい！」と、誰が見ても「上手」と思う文字を書きたくなるもの。新年の書き初めなど、一般的に「きれいな文字を書く書道」とは、異なるイメージで作品を生み出し続けている蒼玄さんは「今まで、存在しなかった書を作り出そう」と時代を先駆ける前衛的な作品のあり方を目指している。

そして何でも新しいモノやコトが好きだ。人がやったことがない表現を取り入れていくためにも、周囲にアンテナを

張り巡らせながら「自分の感覚や感性」を大切にしている。

墨象に魅力を感じて

書道の全国的な組織「書道芸術院」の理事を務める蒼玄さんは大瓜小学校、福井中学校、石巻高校、東北工業大学を卒業。原点は祖父の勧めで始めた小学4年生にさかのぼる。書家の道を進む大きなきっかけとなったのは高校で書道部に入部したことだ。

文字を変形させて、墨と筆で表現する墨象と出会い、その「自由さ」に魅力を感じた。人気に入りの音楽を楽しみ氣分転換

じて、卒業までの3年間、休み時間も書くほど、夢中になつた。



卷頭特集

前衛書道家 千葉蒼玄 未踏領域への挑戦

発表や挑戦の機会が新型コロナウイルス感染拡大の影響で、制限されることも多かった2020年。新年は定着してきた新たな生活様式の中で、挑戦の場が再び戻ってくる年になることを願っています。さて、読者の皆さんは「新年の目標」を決めましたか？

初日の出を拝んで、初詣の参拝をしたら、初売りへ。自宅に戻ったら、うがい手洗いをして、目標や決意を書き出す「書き初め」に挑戦するはどうでしょう。墨を付けた筆を手に集中して「とめ、はね、はらい」が上手く書ければ、良いスタートができそう。そして、気持ちを込めた分だけ、決意も強くなれば、目標達成の可能性も上がるかも。

2021年のスタートを飾る今回は、常に新たな書道に挑戦し続ける石巻市蛇田在住の書道家、千葉蒼玄さん(65)のチャレンジマインドや作品を紹介！新年を機会に新たな挑戦をスタートするきっかけにしてください。



作品「祈り (般若心経)」